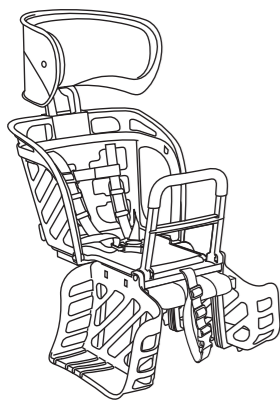


OGK フリーキャリアシステム用着脱軽量うしろ子供のせ RBC-009DXF3 取付取扱説明書

取扱い注意事項 この説明書は、ご使用前に必ずお読みください。読まれた後は大切に保管してください。



ご使用出来るお子様と自転車

ご使用になられるお子様の年齢及び体格を確認し、指定範囲以外のご使用はしないでください。

- 適用体重: 体重20kg以下(クラス25後ろキャリア使用时)、体重22kg以下(クラス27後ろキャリア使用时)
- 適用年齢と身長: 1歳(12ヶ月)以上6歳(72ヶ月)未満のお子様で身長115cm以下。
(※乗車は2歳以上を推奨とします。)
- 適合車種: 後ろキャリアの幅が150mm以上173mm以下の22~27型シティ車(婦人車、軽快車等)でFCベース台装着車(※両立スタンド装着車に限る。※ドレスガード付自転車に限る。)
(※自転車の取扱説明書又は表示に子供のせ又は、幼児座席は取付出来ません”と記載されている自転車には取付しないでください。後ろキャリアを交換する事で取付けが出来ると記載のある場合は必ず自転車販売店で後ろキャリアを交換してください。)
(※幼児2人同乗用自転車の場合は、自転車販売店に相談するか、自転車の表示や取扱説明書で本製品が取付け可能な子供のせである事を確認してください。)

製品重量: 約3.9kg

安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただく為に、次のような表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■表示の説明

警告 誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、又は重傷を負う可能性がある内容を表示しています。

注意 誤った取り扱いをすると、使用者が損害を負う可能性がある内容を表示しています。

■絵表示の説明

安全上してはいけない内容及び行為を表す内容です。

使用者に必ず実行していただく内容です。

警告

●これは自転車用の後ろ子供のせです。他の目的に使用しないでください。

●自転車の後ろキャリア以外の場所に取付けないでください。

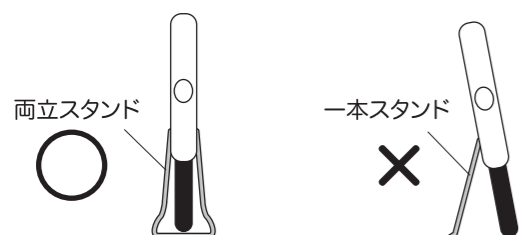
●取付けは自転車販売店にお申し付けください。

●自転車に取付ける子供のせは1つに限り、同乗させるお子様は1人に限ります。但し、幼児2人同乗用自転車の場合は、自転車販売店に相談するか、自転車の表示や取扱説明書で本製品が取付け可能な子供のせである事を確認の上、前用子供のせと合わせて2つ取付ける事ができます。

●自転車に子供のせを取付け、お子様を同乗させる事により、自転車のハンドル操作や走行安定性を損ない、ブレーキをかけた時には制動距離が長くなります。

●使用する時は、後ろキャリア取付けネジも含めネジ等の緩みが無く取付けが確実である事を確認してください。又、破損、変形等したままでは使用しないでください。

●一本スタンドの自転車には取付けしないでください。必ず、ロック付の両立スタンドをお使いください。



●ヘッドレストは、お子様が子供のせに着座した時に側頭部の保護部分が、お子様の頭部中心(耳の上)より高くなるように調整してください。
(※ヘッドレスト装備のもの)



●自転車に同乗させるお子様は一般の自転車では1人、幼児2人同乗用自転車は前後に各1人に限り、使用できる幼児の年齢、体重及び身長範囲を守ってください。

●お子様を乗せたまま自転車から短時間であっても手を離さないでください。

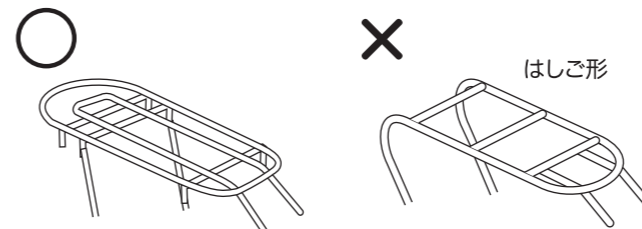


●お子様を子供のせに乗せる時は荷物等を積んだ後に乗せ、おろす時は荷物等を下にお子様をおろしてください。

警告

●お子様を乗せる時には、お子様が正しい姿勢であることを確認し、特に足部が車輪等に巻き込まれないよう、その位置に注意してください。

●後ろ子供のせの取付けに際しては、いわゆる「はしご形」のパイプキャリア等、外枠のみで子供のせを締め付ける為に、取付ステーが反って変形してしまう後ろキャリアには、取付けしないでください。
(取付ステーが反って変形すると、使用中に振動等で締め付けが緩みやすく子供のせが脱落する恐れがあります。)



●お子様の足部安全の為、必ずドレスガードと併用してください。後ろ車輪にドレスガードの付いていない自転車には必ずお子様の足の届く範囲を覆うドレスガードを取付けてください。

●お子様を事故から守る為にヘルメットを必ず着用させてください。ヘルメットを着用させない場合の事故は重傷になりますが、着用させた場合は軽傷で済む事が報告されています。又、運転なさる方も出来るだけヘルメットを着用してください。

●子供のせの装着出来る後ろキャリアは、クラス25、クラス27のキャリアに限ります。

●後ろキャリアに表示されている最大積載質量を必ず守ってください。

●使用中、お子様の手足が届く範囲に自転車錠がある場合は、錠が作動する場合がありますので、その位置には充分注意してください。

●お子様の首にシートベルトがかからないよう注意してください。

●走行中は急ブレーキ、急ハンドルは避けましょう。

●悪路走行やアクロバット走行を行わないでください。

注意

●子供のせの取付位置はペダルを漕いだ時、運転なさる方のかかとが子供のせに触れない場所に取付けてください。

●自転車のリヤリフレックスリフレクタ(後ろ反射板)の後方からの視認を妨げていないかよく確認し、妨げないように取付けてください。

●お子様には必ず靴を履かせてください。

●お子様を乗せる時は付属のシートベルト(腰ベルト、肩ベルト及び股ベルト)を必ず使用してください。

●お子様が眠らないように注意してください。

●シートベルトが車輪に巻き込まれないように注意してください。

●子供のせを雨ざらしにしないでください。

●自転車の表示、取扱説明書を確認して、その自転車に子供のせが取付け可能かどうかを確認してください。自転車に子供のせの取付け可否の表示の無い自転車は、適合自転車対象外になる為、装着が出来ません。自転車の取扱い説明書で判断できない場合には、自転車販売店に必ず相談してください。

●お子様を乗せおろす時は必ず平坦な場所でスタンドをロックして行ってください。

●乗車及び走行中はお子様がニギリをしっかり握るようご注意ください。

●火気高温に近づけないでください。

●ヨゴレは水を含ませた雑巾等で拭取ってください。シンナー・ベンジン等は付着させないでください。

●シートベルトの寿命は約2年です。必ず定期的に適正なシートベルトと交換してください。(有料)

●使用にあたっては交通法規を守ってください。

●SGマーク制度は、子供のせの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。(新品で購入した日より3年間)

●6歳以上の児童を同乗させる事は道路交通法違反となり、違反の場合はSGマーク制度の賠償対象外となる恐れがあります。

●適合自転車、お子様の適用範囲の記載及び取扱説明書の記載を守らない場合にはSGマーク制度の賠償対象外になる恐れがあります。

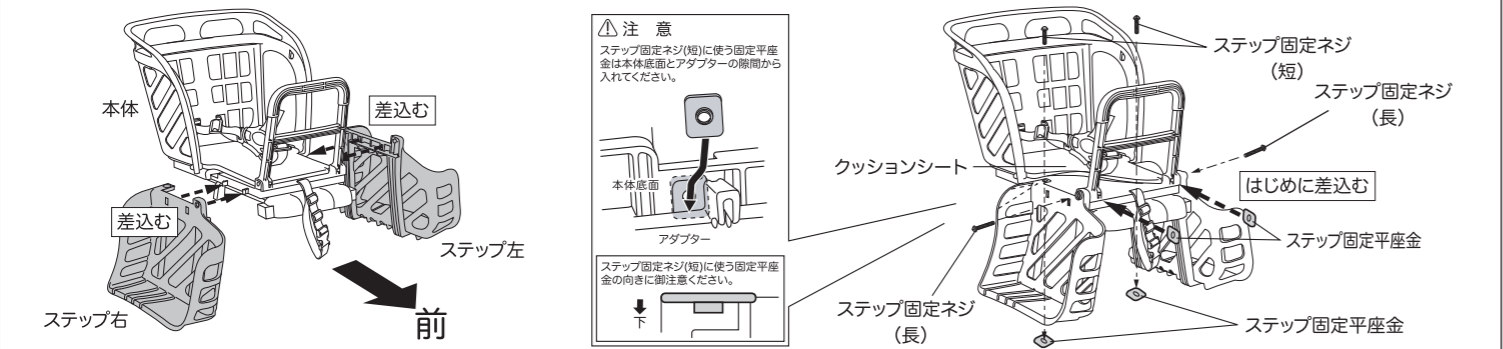


SGマーク

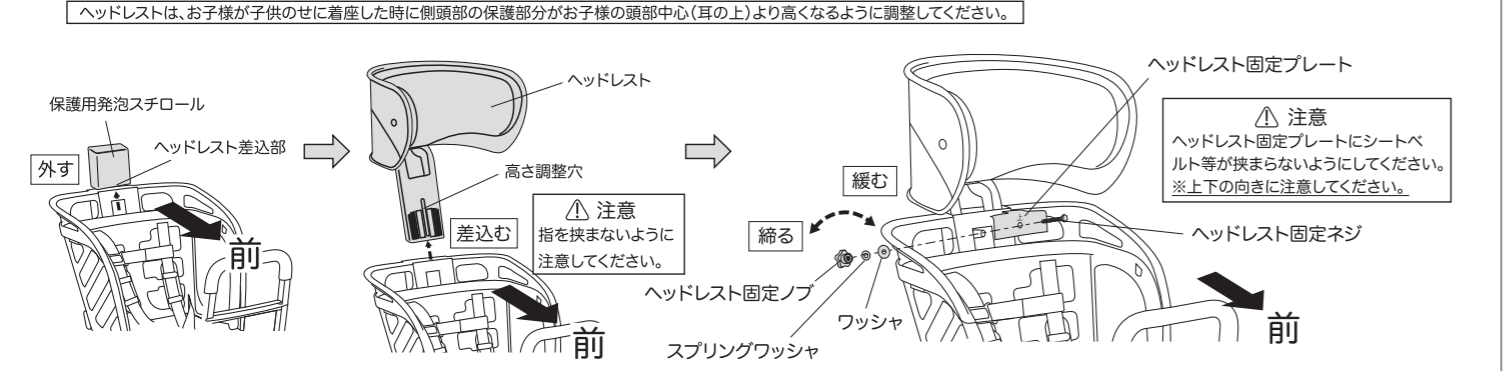
部品構成	本体…1個	ステップ…右左各1個	ステップ固定平座金…4個	ステップ固定ネジ(長)…2個	ステップ固定ネジ(短)…2個	取付ステー…2個	取付ネジ…4個
	ヘッドレスト…1個	ヘッドレスト固定ノブ…1個	ヘッドレスト固定プレート…1個	スプリングワッシャ…1個	ワッシャ…1個	ヘッドレスト固定ネジ…1個	

組立て方

① 本体にステップ右とステップ左を本体に連結させ、ステップ固定ネジとステップ固定平座金で本体にしっかり固定します。



② ヘッドレスト差込部に差込んでいる保護用発泡スチロールを外し、ヘッドレストを子供のせ本体に差込み任意の位置で高さ調整穴に固定ネジを通し、固定ノブでしっかり固定します。



子供のせの取付け方

① FCベース台のロックストッパーを解除しセフティーロックを押下げ、ロックレバーをしっかりと引き出します。

セフティーロックには誤作動防止用のロックストッパーがついています。矢印の方向に押し解除しながらセフティーロックを押し下げてください。

押下げる

引き出す

FCベース台のロックレバー

△注意
24型以下の自転車に取付ける場合、前方よせ過ぎますと運転中に子供のせの巻き込みガードと運転手のかかどが接触することがあります。取付の際には充分ご注意ください。

自転車のリヤフレックスリフレクタ(後方反射板)の後方からの視認を妨げないかよく確認し、妨げないようにしてください。

② FCベース台の凹部分に子供のせ本体底面の凸部分を合わせて載せ、10mm程度車体前方へスライドさせてください。

△注意
子供のせは必ず前向きで装着してください。
注意 FCベース台とバスケットの間に異物が挟まらないように注意してください。

子供のせ本体

凸部

凹部

③ FCベース台のロックレバーを「カチッ」と音がするまでしっかりと押込み固定します。

△注意
ロックレバーをしっかりと押込みロックする。お子様用座席が、脱落する恐れがあります。
注意 ※FCベース台のロックレバーを押込む時はセフティーロックを押し下げる必要はありません。

△注意
※FCベース台のロックレバーを押込む時はセフティーロックを押し下げる必要はありません。

④ 子供のせ本体のロックレバーをしっかりと押込み固定します。
※注意シールが見えなくなるまで押込んでください。

△注意
ロックレバーをしっかりと押込みロックする。子供のせが、脱落する恐れがあります。

⑤ 脱落防止ネジをしっかりと締め込んでください。

△注意
使用時は必ず脱落防止ネジを締め込んでください。子供のせが、脱落する恐れがあります。

⑥ 安全ベルトを自転車のシートポストに巻き、バックル(凸)をバックル(凹)に差込みます。
※安全ベルトは万一後ろキャリアが破損した際の子供のせの落下を防止します。安全の為に必ずご使用ください。

△注意
安全ベルトはぶら下げたままにしないでください。安全ベルトの余った部分はタイヤ等への巻き込みがないようにアジャスターで調整してください。又、バックルが外れた状態での乗車はしないでください。

シートベルトの着脱 △注意 シートベルトはねじれのないようにしてください。

△注意

この子供のせには5点式シートベルト(補助ベルト付)が採用されています。

- 補助ベルトは必ずお子様の背中側にくるようにしてください。
- シートベルトを必ず装着してから使用してください。
- お子様の首に巻き付いたり体を圧迫しないように注意してください。

外す時

バックル(凹)に差込まれているWバックル(凸)の赤い部品を押して外します。

止める時

Wバックル(凸)を重ねてから、バックル(凹)に差込みます。

△注意
Wバックル(凸)は3箇所のミゾがきちんと合うようにしてから差込んでください。

長さ調整の仕方

△注意
シートベルト(又は股ベルト)をアジャスター穴を通した時は必ずシートベルト(又は股ベルト)の先端を2センチ以上出して下さい。

簡易後ろバスケットで使う時

あおりを動かす事で簡易後ろバスケットとしても使えます。

△注意
あおりを収納した時はあおりのツメがキッチンと本体側にはまっているか確認してください。